



表し,行動に移す

～心・思いや考えを～

学校
教育
目標

夢に向かい
学び合い、
認め合い、
鍛え合う
主体的に生きる
子どもの育成



子どもたちの成長がみられた2学期！

～「教育とは?!」改めて考える～



大型の停滞型台風での臨時休業から始まった2学期。11月の終わりごろまでこれまでに類を見ない暑さに見舞われて過ごしてきました。秋の訪れもなく、急な冬の訪れとなりました。その中で子どもたちは、成長した姿を見せてくれました。やはり、学校生活は「人」と「人」のつながり・ふれあいの中で成り立っているのだと感じています。今一度、2学期始業式で私が子どもたちに話した一部を振り返って、学校・教育の大切さを実感しています。それは、(一つ頑張っしてほしいことを話した後で) **何事にも「表し、行動する」**ことです。学校生活において、先生や友だちに自分の考え・思いを伝えてください。うまく伝わらなくてもよいです。うまくいかないからこそ、勉強が必要になってきます。それができるのが学校です。校長先生をはじめ、先生方もみなさんの応援をしていきますので、1学期同様、なんでも話してくださいね。と語りかけたことに対してでした。

今学期、この言葉どおり「思いを表し、行動する」ことを実行した子どもたちがたくさんいました。自分の思いがうまく伝えられなかった時には、トラブルにつながり、苛立ちを隠せず手を出したり相手の気持ちを考えない言葉を発したりとさらにトラブルを重ねた子もいました。自尊心も次第に落ち込み、「どうせ私なんて…。」「僕なんて〇〇なんでえ…。」と嘆いてもしました。

しかしながら、トラブルを上手に良い方向へと導く先生方、周りでやさしい言葉をかける友だち、そして子どもを見守りながら支える地域の方々や保護者のみなさんがいることで、子どもたちが成長していったのではないのでしょうか。私がよく考えるのは、大きな石が道を塞いでいる場面で、それを大人が先回りして通りやすくしてあげることではなく、その子と一緒により良い方法で大きな石を取り除く方法を考え探っていくことだと思っています。そのためには、「思い・考え」を表すための「言葉や行動」が必要となってきます。このことを学ぶことこそが「教育」だと考えます。その場こそが、学校なのです。残りの日々をさらに充実したものとなるよう子どもたちとともに過ごしてまいります。地域や家庭でもぜひとも同じ歩調のもと子ども育てをしていきましょう。よろしくお願いします。



「OITA COCOLO PLAN」を受けて！

本校では

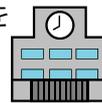
「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」の取組の一つとして、3学期始め

の約1週間も下校時刻を早め、緩やかな学校生活のスタートを実施することとしました。

2学期のスタートにこの取組を実施しましたが、ご家庭の方でこの趣旨をご理解のもと子ども対応をしていただいた効果をもとに3学期も実施いたします。なお、いつもより早い下校時刻になります。子どもたちが3学期の良いスタートがきれますように…。(詳しい内容は昨日配信した「すぐる」をご覧ください。)

たくさんの「学校賞」が届きました！

子どもたちの頑張りのおかげで、「学校賞」をいただきました。



- ◇「租税教育の推進」に対する感謝状 (大分税務署長より)
- ◇「第53回 私の詩作品コンクール」学校賞 (OBS大分放送より)
- ◇「第59回 私の作文コンクール」学校賞 (OBS大分放送より)

上記の「子どもたちの成長」もここでも表れています。

感染症に気をつけよう！

